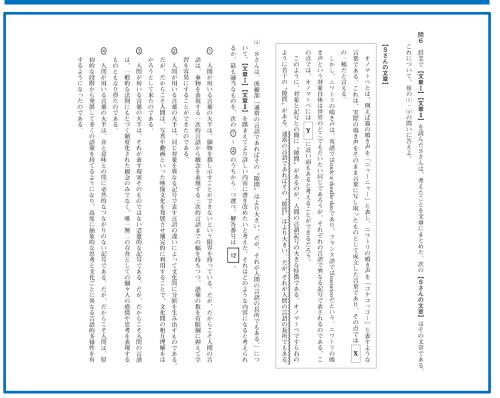
【国語】 ベネッセ・駿台大学入学共通テスト模試と同傾向の出題



生徒が自分の文章を推敲する場面設定の出題で、傍線部の内容を正確に言い換える力が求められた

共通テスト 第1問 問6(i) 第見があった。ところが、小説を読んでから訪れてみると、今までと別の見方ができていることがなかった。ところが、小説を読んでから訪れてみることで、作品が新しい姿を見せることもあるのだ。(d) 作品を読んで町を歩込んで読んでみることで、作品が新しい姿を見せることもあるのだ。(d) 作品を読んで町を歩込んで読んでみることで、作品が新しい姿を見せることもあるのだ。(d) 作品を読んで町を歩込んで読んでみることで、作品が新しい姿を見せることもあるのだ。(d) 作品を読んで町を歩込んで読んでみることがなかった。 0

第3回ベネッセ・駿台マーク模試 第1問 問6 (ii)



両者の問題とも、生徒が書いた【文章】の一部に傍線が引かれており、傍線部の内容と各選択肢の内容との整合性を正しく判断できるかどうかが問われた。いずれも「書く」という言語活動の過程が意識されており、文脈を適切に理解したうえで、より具体的に説明する力が求められた。